

# 高田川新聞

2018年10月29日

発行所 高田川部屋後援会事務局  
〒135-0024  
東京都江東区清澄2-15-7  
www.takadagawa.com

大相撲十一月場所  
平成30年11月11日より  
15日間  
於 福岡国際センター

高田川部屋  
十一月場所 福岡道場  
福岡県福岡市早良区  
小笠木678-1  
オイスカ西日本研修センター

## 竜電、白鷹山二桁十勝

### 竜電 今年二度目の十勝

平成三十年九月場所は、三横綱、三大関がそろって出場し、白熱する戦いを横綱・白鷹が前人未到の四十一回目の優勝と幕内十勝で飾った。高田川部屋も怪我で休場していた二力士が戦線復帰し、四場所ぶりに全員で臨んだ場所となった。



### 白鷹山 奮起の初勝ち越し

初日、部屋の内閣取の中で竜電だけが黒星を喫した。しかし、そこから運も味方につけて不戦勝を含む、自身初の怒涛の八連勝で九日目に平幕勝ち越し一番乗りを果たした。元々、連相撲になりやすいタイプ。勢いに乗るとどんどんよい形になっていく。低く当たりながら相手をよく見ていく。攻めこんでいく。課題は、勝ち越した後の終盤を二勝四敗としたことだろう。連勝中の攻める姿勢がふと消えて三連敗。しかし、十三日目の琴奨菊戦では十五日間で一番いい相撲と評している程、攻めの強い竜電が戻ってきて、元・大関を寄り切った。千秋楽も一気に二回目を十勝。次はいよいよ幕内上位で三役以上と当たる。どこまで攻めまくれるか。竜電の相撲に注目したい。

初日、部屋の内閣取の中で竜電だけが黒星を喫した。しかし、そこから運も味方につけて不戦勝を含む、自身初の怒涛の八連勝で九日目に平幕勝ち越し一番乗りを果たした。元々、連相撲になりやすいタイプ。勢いに乗るとどんどんよい形になっていく。低く当たりながら相手をよく見ていく。攻めこんでいく。課題は、勝ち越した後の終盤を二勝四敗としたことだろう。連勝中の攻める姿勢がふと消えて三連敗。しかし、十三日目の琴奨菊戦では十五日間で一番いい相撲と評している程、攻めの強い竜電が戻ってきて、元・大関を寄り切った。千秋楽も一気に二回目を十勝。次はいよいよ幕内上位で三役以上と当たる。どこまで攻めまくれるか。竜電の相撲に注目したい。



幕下復帰の大雷童(右)

### 輝 実感した一勝の重み

このところの輝の勝敗には、不思議なことが起こる。この悪かった北勝富士や若山に勝ったと思えば、勝ち続けていた松鳳山にあっさり負ける。毎場所、着実に力をつけていると評されながら、強さと脆さが共存している。勝てる相手にしっかり勝ってささいな負けが繰り返される。このところの輝の勝敗には、不思議なことが起こる。この悪かった北勝富士や若山に勝ったと思えば、勝ち続けていた松鳳山にあっさり負ける。毎場所、着実に力をつけていると評されながら、強さと脆さが共存している。勝てる相手にしっかり勝ってささいな負けが繰り返される。

### 自己最高位の壁

九月場所、自己最高位で迎えた安芸乃山、恵比寿丸、天恵、藍の四名。しかし、七勝七敗で迎えた初の千秋楽で、大栄翔に攻め込まれ完敗。自分でも情けなかつたに違いない。同部屋の二人の関取が十勝する中、勝ち越した。自分の力試しには一勝の重みを感じた。攻めで連勝して締めくくった。気がつけば、関取として初の勝ち越しだけでなく二桁十勝。粘り強い相撲が誰よりも際立った。浮かれず、この悔しさをぐっと噛みしめて、それを力に変えてこそ、中でも安芸乃山は、初の幕下十五枚目以内の番付。対

戦相手は、勢いのある若手力士と関取経験者ばかりで、いきなりの三連敗。しかし、後半四番を三勝一敗とし、負け越したものの、自力のあるところは見つけた。この二年間、勝ち越し八、負け越し四。その負け越しも全て三勝はしており、九州場所では真価を発揮して来年には幕下一桁、そして十両へと一気に駆け上がってほしい。

＜ご当地力士紹介＞  
福岡県大野城市出身の大野城です。同じ地元の大乗さんが入門していたので行司さんに誘ってもらい入門しました。得意の形は右四つ。竜電関のような四つ相撲で勝ち越しめざして頑張ります。応援よろしくをお願いします。  
本名：木村 俊文(平成8年1月31日生)

幕内	十両	幕下	三役目	序二段	序ノ口	藍
竜電	白鷹山	安芸の花	大野城	前乃富士	松ヶ島	藍
先場所 10勝5敗	先場所 10勝5敗	先場所 4勝3敗	先場所 6勝1敗	先場所 3勝4敗	先場所 3勝4敗	先場所 0勝7敗
●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
重心が前に乗り、つまみ相手を攻めることができた。自分の相撲が上位に通じる力まで試し、今年の目標の三役昇進を達成できた。勝ち越し以上を目指したい。	自分らしい相撲を取りきれず、一勝の重みを実感した。膝や左の使い方ももっと覚え、一年の終わりに必ずしも場所になるように、しっかりと自分の強い相撲を取りたい。	あといくつ勝ちたいかは無く、毎日初日の気持ちで臨んだのがよい結果につながった。来場所も同じ心構えで臨み、精一杯の相撲で今年を締めたい。	素直な気持ちで稽古に励み、しっかりと当たって前に出る相撲で今年最後の場所も勝ち越して締めたい。	怪我の回復で体も気持ちも前に向かっていた。基礎運動を地道にやり、平成最後の九州場所を好成绩で飾りたい。	立会いで足元を前に運び、一番に考え、地元九州場所を地元にやり、平成最後の九州場所を好成绩で飾りたい。	立会いで足元を前に運び、一番に考え、地元九州場所を地元にやり、平成最後の九州場所を好成绩で飾りたい。

三役行司 式守勲太夫の目  
大相撲人気が高まるにつれ、後援会会員の皆様からのチケット申し込みが場所五十件を超えるという大盛況ぶり。皆様には心から御礼申し上げます。横綱・稀勢の里関の復活でさらに申し込みが増えると思われ、うれしく思っています。また、巡業の数も人気のバロメーターとなります。巡業の申し込みが

9月27日の理事会において、式守勲太夫が来年初場所の番付発表の12月25日より、立行司 第41代 式守伊之助に昇進することが決まりました。

＜ご案内＞  
高田川部屋 千秋楽 祝賀会  
平成30年11月25日(日) 午後6時30分 開宴  
※会場は、高田川部屋 福岡道場にて(会費制、別途ご案内致します)  
各お問い合わせ・お申し込み/行司 式守勲太夫 まで  
電話 090-3215-6524  
※ショートメールでお願いします

※表記の番付は正式発表前の予想